

令和2年度 調布市立第八中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
○自ら考え行動する生徒（知）○思いやりのある心豊かな生徒（徳）○心身ともにたくましい生徒（体）	
目指す学校像(ビジョン)	
『生徒一人一人が輝き、さわやかで気持ちのいい学校』づくりを目指す	
○「主体的課題解決力」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 主体的・対話的で深い学びを通して、自ら考え行動できる生徒を育成する。 	
○「道徳的実践力」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 人権教育及び道徳教育を重視し、思いやりがあり心豊かな生徒を育成する。 	
○「創造的行動力」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 学校行事・部活動・キャリア教育等を通して、心身ともにたくましい生徒を育成する。 	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> ○現状 生徒は、素直で素朴で生活面の乱れもなく、学校生活は落ち着いている。保護者は、学校に対して協力的で、PTAや地域学校協働本部の活動が活発である。 ○課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある学校づくり（授業力の向上、確かな学力の定着、配慮を要する生徒への特別な支援） ・ 特別支援教育の充実（研究推進校としての取組、校内通級教室拠点校としての取組、指導スキルの向上） ・ 地域と連携した学校づくり（地域学校協働本部の活用と連携、土曜学習部の運営、各種検定の実施）

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	言語知識の定着に基づき、相手の理解を考慮した表現力と方策の構築、意見交流により他者の思案を評価できる理由を抽出した上で取り入れる再構成力、重要点を端的に総括し、具体例と根拠を明確に文章化する思考力を伸長させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字テストなどを随時行い、基礎知識の定着を図る。 ・ 設問の解答を他者と共有をして、再構成する手段を身に付けさせる。 ・ 小集団での意見交流と発表機会を多く設定し、聞き取る姿勢の育成と思案から文章化して伝える過程を構築させ、自主的な表現活動につなげる。 ・ 教科書の既習範囲の比較、様々な文章形態を扱い、書き手の意図、表現方法を理解して文章作成に取り入れさせる。
社会	社会的な事象や現代社会の課題などについて、社会的な見方・考え方を働かせ、自ら課題を追究したり解決したりする態度を育成する。また社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、グローバル化する国際社会に主体的に生きる態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器を活用し、様々な写真や資料を提示し、社会的な事象に関する生徒の興味・関心を高めるとともに、具体的なイメージをもてるようにする。 ・ 三分野(地理・歴史・公民)で学習した知識を相互に関連付けてより深く理解させ、新たな課題を発見させる。 ・ 地域的特色や現代社会の課題を踏まえた単元を見通した問いを設定し、身に付けた知識・技能を活用させながら対話的活動を取り入れ、多面的・多角的に考察できるようにする。
数学	数学的に考えることのよさ(処理、実用性など)を実感し、様々な事象の考察や問題解決に数学を活用する、または活用しようとする態度を育成する。その上で、日常の事象や数学の事象を数理的に捉え、数学を活用して論理的に考察する力を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器を活用し、数学に対する興味・関心を喚起する。 ・ 授業での課題や発問を精査し、課題解決までの見通しをもてる授業を行う。(めあての表記、ヒントカードの活用、机間指導の充実) ・ 1つの課題から発生する多様な考え方を、授業の中で他の生徒と共有する場面を設定し、数学のよさを実感させる。 ・ 新たな課題の発見を促すための、授業の振り返りを充実させる。
理科	目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育成する。また、主体的・対話的で深い学びを目標に、科学的な思考力の育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートやレポートなどで考察やまとめを言語化するとともに、口頭や文章等で発表する機会を多く設ける。 ・ 3年間の理科の学習のつながりや他教科との関連、学習内容が実生活で生かされていることなどと関連させながら考えさせ、理解を深める。 ・ ICT機器を活用し、視覚聴覚的にもイメージしやすい授業を行い、意欲関心を高める。

<p>音楽</p>	<p>音楽を鑑賞すること・自分の思いを元に音楽表現することを通して、音楽文化についての理解を深め、感性を高める。その音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようになる力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等を活用し、主体的で深い学びを実現させる。 ・ICT機器を活用する等して、より理解が深まる教材づくりを行う。 ・学習の目標を明確にする。 ・音楽の技能や知識について基礎的な学習から指導する。
<p>美術</p>	<p>美術の授業の中で作品を作ったり、鑑賞したりする活動を通して自己の個性・考えや・感じ方を表現する力を育成する。多くの選択肢を自ら設定し、その中から選ぶことのできる力を育成する。また他者の作品や感想を受け取り、その良さや自分との違いを楽しむ態度を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等を活用し一つの課題に対して複数のアイデアを出させ、その中から自ら選び取らせる活動を行う。 ・鑑賞の活動を通じて互いの作品を評価し、自分と違うことを発見させる。相違点の面白さや、楽しさを感じたところを言語化させる。 ・導入や制作段階において、題材と生徒の生活を関連させ、美術を身近なものとして感じる工夫をする。
<p>保健体育</p>	<p>基礎的な技能の定着を図ること、授業の目的を毎時間ごとに説明し知識の定着も図っていく。また、仲間との学びあいの中でコミュニケーション能力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの活用により個人の課題を明確にすることで、次の授業の見通しを立て、継続的に取り組めるような授業展開をする。 ・ICT機器の活用により、自他の動きの分析をしたり、授業で説明したりする内容について、プリントなどで更に補充をしていく。
<p>技術・家庭</p>	<p><技術> 創造的行動力を育む一助になるように、題材を工夫し、生徒の個性を引き出しながら、物づくりに取り組む姿勢を育成する。</p> <p><家庭> 自立に向けて、知識や技能を身に付けながら、共生社会や持続可能な社会のために、何ができるか、考え、実践できる力を身につけさせる。</p>	<p><技術> ・毎時の目当てと注意点を提示し、生徒の自発的な取り組みを促す。</p> <p>・課題に直面した時に、学び合い学習なども取り入れながら、自ら解決できる方法を探らせる。</p> <p><家庭> ・毎時間の学習目標を提示する。</p> <p>・小グループ活動を多く取り入れ、意見交換をしながら多様な考えがあることを学ぶ。実習では互い教え合う力を養う。</p> <p>・作品作りでは、見通しをもって作業に取り組めるように、1時間の行程がわかるように提示する。</p>
<p>英語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず積極的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・情報や考えなどを明確に理解したり、伝えたりしようとする力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業を活かし、個に応じた指導を充実させる。 ・ペアやグループ活動を用いて、反復練習による基礎の定着を図る。 ・毎時間の授業で授業プランや目標を明確にし、分かる授業を目指す。 ・言語活動では、関心ある事柄、話題、身近な場面設定を行い、実際に活用する場面を具体的にイメージさせる。 ・新出文法事項は具体的な使用場面を与え、口頭による導入で理解を促進する。
<p>道徳科</p>	<p>思いやりがあり、心豊かな生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多種・多様な教材を通して、人間としての生き方を深く考えさせる。 ・小グループでの話し合いや心情円を使った取り組みにより、意見を出しやすい環境を作り、自分の意見だけでなく他者の意見を共有しやすくする。 ・毎時間、毎学期の振り返りシートの記入により、自らの成長を実感し意欲の向上につなげる。